

IDEC 特別顧問 藤田俊弘が 『「国際標準化」事業創成の極意 グローバル市場で主導権を握る』を発刊 国際標準化活動を事業成長と市場創造につなげる戦略と手法を紹介する実践本

IDEC 株式会社(本社:大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長:船木 俊之)は、当社特別顧問兼 Chief Safety, Health and Well-being Officer であり、日本認証株式会社 代表取締役会長、および大阪大学産業科学研究所招聘教授を務める藤田俊弘が、2026年10月14日(水)(国際標準の日)に、書籍『「国際標準化」事業創成の極意 グローバル市場で主導権を握る』を発刊することをお知らせします。

書籍発刊の背景と概要

新たな技術やサービスをグローバルに展開するためには、技術開発だけでなく、市場ルールの形成を見据えた戦略がますます重要となっています。本書では、企業が国際標準化活動を単なる規格策定やルールづくりとして捉えるのではなく、経営戦略や事業戦略の一環として活用し、新たな市場の創出や競争優位の確立につなげるための考え方と実践手法を解説した「実践本」となっています。

特に、IDEC 株式会社が1990年代に国際標準化活動を行わずに市場を喪失した失敗体験に学び、2000年以降国際標準化活動を実践することで、「ロボット安全装置」でのグローバルシェア90%を獲得した舞台裏を詳細に説明しています。それ以外にも、「フィジカル AI 時代に必須な技術」や、多くの団体を設立することで沢山の国内外の仲間と日本発の国際標準づくりや日本発の認証の仕組みを構築した「要員資格認証制度」、「協調安全」、「ファインバブル技術」等での国際標準化活動による事業創成の具体例を示しています。

国際標準化活動の

全てが分かる1冊

オープン&クローズ戦略を駆使した5つの成功事例を基に、国際標準化活動の実践の仕方を余すことなく開示

肝は
仲間づくり



- 1 ■ 稼げる「国際標準化」——新・国際標準化活動7つの提言
- 2 ■ ビジネスツールとしての国際標準化へ、国が取り組み着々
- 3 ■ 国際標準づくりに参加するかしないか、天と地の差
- 4 ■ 国際標準化初挑戦の舞台裏、規格化の経緯
- 5 ■ 国際標準化初挑戦の舞台裏、成功の要因
- 6 ■ 国際標準化で非常停止押釦スイッチをフィジカルAI時代の戦略製品に
- 7 ■ 日本発の認証制度を国内から海外、そして国際標準化へ
- 8 ■ 世界初・日本発の「協調安全」を「技術+知財+標準+認証」で産業化
- 9 ■ BtoBからBtoCまで多彩な新産業創出、ファインバブル技術
- 10 ■ 世界68カ国・地域の仲間と共に技術開発から事業化までを支援

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画本部 コーポレートコミュニケーション室 元山理映子
 (TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com

■ 著者プロフィール

藤田俊弘（ふじた としひろ）



IDEC 株式会社 特別顧問兼 Chief Safety, Health and Well-being Officer
日本認証株式会社 代表取締役会長
大阪大学産業科学研究所 招聘教授

長年にわたり、IEC（国際電気標準会議）や ISO（国際標準化機構）における国際標準化活動を推進し、日本発の国際標準化やルール形成を牽引することで、日本企業の国際競争力向上と新市場の創出に貢献してきました。2022 年には、こうした国際標準化活動への功績が評価され、産業標準化事業表彰において内閣総理大臣表彰を受賞しています。

■ 書籍概要

書 名： 「国際標準化」事業創成の極意 グローバル市場で主導権を握る
著 者： 藤田俊弘
出版社： 日経 BP
発売日： 2026 年 10 月 14 日（水）
価 格： 2,970 円（税込）
ページ数： 368 ページ

- 関連リンク： [Amazon](#)

■ IDEC 株式会社について

1945 年に和泉商会として創業し、1947 年に和泉電気株式会社を設立（2005 年に IDEC 株式会社へ社名変更）。「人と機械の最適環境を創造し、世界中の人々の安全・安心・ウェルビーイングを実現する」ことをパーパスに掲げ、産業用スイッチをはじめとする、人と機械の接点となる HMI（Human-Machine Interface）や安全関連製品などの制御機器をグローバルに展開しています。

また、国際標準化活動を通じた社会ルール形成にも積極的に取り組み、新たな市場や社会価値の創出を推進しています。

- Web サイト： <https://www.idec.com/ja>

以上